



から来るかと言えば、主がすばらしい方であるという偉大な事実から来るのです。ならば、そのすばらしさを表すことは、私たちの行動の第一歩です。

主をたたえることから始めましょう。それを単純に表しましょう。

133 都上りの歌。ダビデによる

133:1 見よ。兄弟たちが一つになって共に住むことは、なんとというしあわせ、なんとという楽しさであろう。

133:2 それは頭の上にそそがれたとうとい油のようだ。それはひげに、アロンのひげに流れてその衣のえりにまで流れしたたる。

133:3 それはまたシオンの山々におりるヘルモンの露にも似ている。主がそこにとこしえのいのちの祝福を命じられたからである。

134 都上りの歌

134:1 さあ、主をほめたたえよ。主のすべてのしもべたち、夜ごとに主の家で仕える者たちよ。

134:2 聖所に向かってあなたがたの手を上げ、主をほめたたえよ。

134:3 天地を造られた主がシオンからあなたを祝福されるように。

兄弟とは肉親もそうですが、クリスチャンである兄弟姉妹、また民族を超えた間柄のことであるとも言えるでしょう。それは聖霊の油注ぎによって与えられる愛で可能です。またそれは豊かな実を与えるヘルモン山の露のようでもあります。

教会で兄弟姉妹の交わりに感謝しましょう。また交わりをさらに楽しいものにしましょう。

主の祝福をいただくために、ここで勧められているのは単純なことです。「手を上げ、主をほめたたえよ。」という、賛美の姿勢です。学びも大切、奉仕も大切、献金も交わりも祈りも大切であることは言うまでもありません。そしてそれらの動機がごこ

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

